

2025年度学習支援計画書(シラバス)

科目名			担当講師		
服飾造形			石山 玲子		
授業科目区分	授業形態	学科名	学年	時間数	
必修	実技	ファッションクリエイト科	1	540	時間
担当講師の経歴又は実務経験					
服飾専門学校卒業後、アパレル企業にてファッションデザイナー、パタンナーとして勤務。その後、ファッションデザイン画、服飾造形などの指導を受け持つ。					
授業概要					
衣服製作におけるデザイン、作図、縫製の基礎的な知識、技術の習得と応用					
学習到達目標					
衣服製作の基礎を学び、基本形からの展開を応用した作品を製作する					
テキスト及び教材					
文化ファッション大系 各服飾造形講座					
授業内容					
回	テーマ	内 容			
1~20	基礎縫い	裁断縫製の基礎を身に付ける			
21~30	スカート原型	タイトスカートの作図、試着点検、補正を行いスカート原型を制作			
31~50	身頃原型	身頃原型の作図、試着点検、補正を行い身頃原型を作成			
51~100	夏に向けた作品製作	スカート原型からのデザイン展開とパターン展開、仮縫い方法と試着補正法、裁断、縫製法を身に付ける			
		ブラウスのデザインと作図、仮縫い方法と試着補正法、裁断、縫製法を身に付ける			
101~125	タイトスカート製作	裏布のパターン、裏つき仕立ての裁断、縫製法を身に付ける			
126~130	まち飛び作品	行事販売用の商品製作			
131~220	テーラードジャケット製作	テーラードジャケットの作図、試着補正方法、総裏仕立ての裁断、縫製法を身に付ける			
221~300	春に向けた作品製作	デザインを検討し確定する。			
		人体構造や運動機能、素材特性を考え、平面製図、立体裁断技術をいかし、デザイン発想力と表現力を身に着ける。			
		作品を製作する。			
		小物など付属品の作成			
301~330	自由作品製作	自由に作品を製作する			

成績評価の方法及び基準

構造理解度、製作知識度、作品完成度、表現力などを授業内、提出物により評価する。

評価		成績評価の到達度
A	優れている	理解、知識、表現にすぐれている
B	普通	一定の理解、知識があり、表現ができる
C	やや劣る	ある程度の理解、知識があり、表現ができる
D	劣る	理解、知識、表現がやや不足している
E	不合格	理解、知識、表現が不足している